

EGGPLANT

ホームスクール通信 エッグプラント

那須ファミリー

2008.10.1

No.51

九月に緑橋集会主催の特別集会で聖書の話をしていただきました。食後、僧侶の弘法大師（空海）を尊敬している年配の方と話をしました。

空海は書家として、また四国八十八か所の靈場を開いた人として有名です。私もクリスチャンになる前、高校生の時に、福岡県篠栗という町にあるコンパクト版八十八か所巡りをしたことがあります。四国は全部回るのに一カ月ほどかかりますが、そこは三日で回れるのです。その当時、仏教に興味をもっていたので、風変わりな友人たちと一緒に修行の物真似をしたのです。クリスチャンになってから分かったことですが、実は、空海は聖書の影響を強く受けていたのです。

留学した中国で聖書に触れる

空海は、平安時代、中国・唐の都長安に遣わされました。その当時、唐では景教と言われていたキリスト教の寺院、仏教寺院、ゾロアスター教寺院、道教寺院などが集まっていました。そこで彼は、般若三蔵という人から景教（キリスト教）のことを聞きました。三蔵は救い主はイエス・キリストであると言い、空海は仏陀

意外なところにある聖書の痕跡



だと言ったのです。（仏陀自身は自分が救い主であるとは言っていないのですが、）クリスチャンの景浄（アダム）に会ったり、聖書に触れたりしていました。

空海は、日本に帰って広めた「真言密教」を唐で学んだのですが、真言密教自身がそのころ中国で影響を与えていた宗教を混合したようなものだったのです。真言密教では儀式の最初に十字を切ります。これはもともと景教徒（クリスチャン）たちが儀式のときに十字を切っていた名残と言われています。また、空海は真言密教の信者になったしに「灌頂（かんじょう）」という儀式を受けました。これは、梅の木の棒で頭の上に水を三度注ぐ儀式です。真言密教以前にはなかったもので、聖書が語る洗礼式を真似たものと言われています。

洗礼名までもっていた？

空海は灌頂を受けた時、「遍照金剛（へんじょうこんごう）」という灌頂名をもらいました。この言葉は巡礼した私もよく知っていましたが意味は知りませんでした。遍照とは「あまねく照らす」という意味です。「わたしは世の光です。」「や、あなたがたの光を人々の前で輝かせ...」と言われたイエスのことばを彷彿させます。（私たちの教会では洗礼名はつけませんがクリスチャンの中には持つ

ている人もいます。）その他、空海が開いた真言宗の本山・高野山で新約聖書が読まれた形跡があったり、中国で建てられていた「中国でキリスト教が流行していたことを記念する碑（大秦景教流行中国碑）」の複製が高野山にあったりしますから不思議な感じですね。この碑は、仏教と聖書の関係を調べたゴードン夫人が建てました。

この世界とそこの中にあるすべてのものをお造りになった神は、天地の主ですから、手でこしらえた宮などにはお住みになりません。

また、何かに不自由なこともあるかのように、人の手によって仕えられる必要はありません。神は、すべての人に、いのちと息と万物とお与えになった方だからです。

神は、ひとりの人からすべての国の人々を造り出して、地の全面に住まわせ、それぞれに決められた時代と、その住まいの境界とお定めになりました。∴確かに、神は、私たちひとりひとりから遠く離れてはられません。

（使徒十七章二十四節）

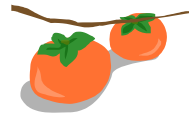
聖書が語るのにはキリスト教という宗教の神ではなく、私たちの魂の源なる方です。私たち人間は、この唯一の創造主を、自分たちの感覚で引き下げたり、他のものにすり替えたりするのです。聖書が完成してからの二千年の歴史がそれを物語っています。今こそ、二千年不変の聖書のことば目を留めるときではないでしょうか？



こんなことしました！ 行事報告

九月

- 五日 M家・Kさんが来訪
- 十二日 子供水泳教室開始(長居プール)
- 十三日 老人保健施設「くれない」へ 日曜学校より慰問
- 十五日 玄遠社書展(大阪市立美術館)
- 十六日 お作法教室
- 二十日 土曜学校「マジックをしよう」 劇団コロ「ハンナのかばん」
- 二十一〜二十二日 H家が来訪
- 二十三日 緑橋集会の特別集会(KKRホテル)
- 二十九日 木下大サーカス(花博記念公園)
- 三十日 合同公文教室



H 家がホームスクールを見学にきました。我が家の人気者になった4か月のY君。かわいい赤ちゃんで、みんな勉強どころではありませんでした。(見学のはずなのに...?)



玄遠社書展。奈緒美は「美しい心」、里紅香は「大きな声」と書きました。(見えるかな...?)



木下大サーカス

H

私たち家族は木下大サーカスを観に行きました。今日は父の仕事が休みだったので家族全員で行くことができました。最寄りの駅からサーカスに行く人々があふれていて、その人数の多さに驚きました。結局、二回目の公演は満席で観ることができず、追加公演が行われることになり、それまでの三時間を待たなければなりませんでした。

この日はあいにくの雨だったので、近くの公園で遊ぶこともできず、ずっと雨の中を散策したり、話をしたり、記念撮影したりひたすら時間がたつのを待っていました。(その待っている時間がとても楽しかったという子もいましたが...)

会場に入ると、千五百人以上の人が来られていて、ほぼ満席の状態でした。これだけの人がどこから集まったのでしょうか。

一番印象に残ったのは日本で初めて登場した「決死の空中大車輪」という出し物でした。この演技は二つの大きな車輪にそれぞれ人がバランスよく乗って動かし、縄跳びや逆立ちをするものです。命綱もつけていないのに、高い場所で演技をしていたので落ちたらどうなるのかなあ?と考えていました。

そのほかに動物の演技などがありました。調教師が虎とライオンを鞭で静かにさせたり、演技をさせたりしていて、どのように調教するのか不思議でした。ゾウが鼻でフラフープを回したり、逆立ちをしたりと驚くような演技ばかりでした。重い体であるような芸をして少しかわいそうにも思いました。

サーカス一座の人たちはたくさんの方で、面白いピエロがいたり、空中ブランコの花形スターがいたり、そうかと思えば裏方で支える人がいたり、それぞれの役割がありすべての人が協力するので二時間もの長いショーが成功するのだと感じ、チームワークが見事だと思いました。三時間待った価値が十分ありましたし、貴重な経験ができてよかったです。

水泳教室

R

E兄ちゃんと私で水泳教室に行くようになりました。

一番、最初にしたことはテストです。私はぜんぜん泳げませんでした。十六級です。

先生はやさしいけど、こわい時はすぐこわいです。準備体そうもしつかりしてから泳ぎます。去年は水がこわかったけど、今年はこわくありませんでした。

今は、バタ足の練習をしています。もうキック板を使わなくてもできます。けど、ちょっとしか足がとどかないので、こわい時もあります。サポーターは背中につけています。一回おぼれそうになっただけど、サポーターをつけていたのでうかびました。

横のクラスでE兄ちゃんが泳いでいるから安心です。最後はサウナに入ります。あつたかくて気持ちいいです。

今度のテストではぜったい次のクラスへいけるようがんばりたいです。

編集後記

祖父から新しい自転車を買ってもらったR。今まで使っていたのは、Nのお古。小さい車輪なのに何度も天満橋まで行き、一度もパンクしませんでした。ゴムはすりきれて中身が見えるほど...こくろうさまでした!